

【放射線量低減化対策に係る手引き（茨城県）】

○服装 ； 作業服、運動靴、布手袋（軍手）、マスク、帽子、タオル

○土壌の除去方法

●雨樋直下

- ・ 雨樋から直接地面に流れ落ちている場合には、雨樋直下について約 20～30 cm深さで、雨水の流水経路については、約 50 cm～1 mの長さ、深さ 5～10 cmの土壌を除去する。
 - ※ 適宜、線量を測りながら流水経路に沿って必要な範囲の除去をするとよい。
- ・ その後、覆土する。
 - ※ 覆土することにより、土壌除去後と比較して、50 cm高さで約 2～4 割低減される。
- ・ 雨樋から直接側溝等流れ落ちている場合には、側溝等に残っている土砂を除去する。

●側溝

- ・ 堆積している土砂等をハンドショベルで丁寧に除去し、土嚢袋等に入れる。

●芝・草むら等

- ・ 除去する際には、根についた土ごと土嚢袋等に入れる。

●立木及び植栽植え込みの土

- ・ 立木については、根元周辺の土壌を、約 1 cm除去し、土嚢袋等に入れる。
- ・ 植栽植え込みの土については、ショベル等で約 1 cm除去し、土嚢袋等に入れる。

●除去した土嚢袋等の当面の処理方法

- ・ 土砂を入れた土嚢袋等について
敷地内に穴を掘り、ブルーシート等で養生して埋設（約 40 cm～50 cmの覆土）する。もしくは敷地内の一角にブルーシートで養生し、トラロープ等で立入制限をするか、仮置きを表示等をしたうえで、一時保管する。

○作業終了後の措置

- ・ 作業した後は、うがい手洗いを行う。
- ・ 用具類は使用后よく洗い、作業に使用した衣類等は洗濯する。（普通の洗濯で十分）

【茨城県原子力安全対策課ホームページ】

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/seikan/gentai/nuclear/teigenka.html>